

◆大阪ブランド情報局は、大阪のさまざまなブランド資源情報を発信するホームページです。
その最新情報のいくつかをご紹介します。

web放送局プロジェクト、立ち上げ!

大阪21世紀協会では現在、“web放送局”というコンセプトのもと、webサイトのリニューアルを行っています。テーマは「イベント・雑誌・マスメディアとの連動」「ユーザーとの双方向性を持たせたリアルタイムの情報発信」。メインコンテンツとしては、関西発の様々なイベント情報を網羅した、ユーザー参加型の情報発信ポータルサイト「Kansai Art Stream」、大阪で行われるさまざまな講座・ワークショップを一堂に紹介するコラボレーション型のポータルサイトなどを予定しており、今秋以降に順次立ち上げていく予定です。

「多士彩才」取材進行!

重里欣孝氏
サトレストランシステムズ株式会社 代表取締役兼執行役員社長、食博2009理事長

高島幸次氏
大阪大学CSCD招聘教授

北川フラム氏
水都大阪2009プロデューサー



重里欣孝氏

関空でウエルカム映像放映中

関空の税関エリアで、到着客に大阪や関西に好印象を持ってもらうための映像が放映されています。これは、大阪21世紀協会が大阪や関西の知名度や好感度を上げるために、海外からの訪問客がまず足をとめる荷物うけとりエリアに映像の放映を提案し、関空とこのエリアを管轄する税関のご協力とご理解を得て実現したものです。パナソニックのご協賛で50インチディスプレイ16台の提供を受け、今年5月から開始されました。

映像の内容は、歴史や伝統のなかでビジネス最先端都市として発展している大阪の街を紹介するとともに、京都、奈良、神戸など魅力的な都市が近接しているので関西の魅力を楽しんでほしい、と呼びかけています。

大阪や関西の魅力を訴えるためには映像で見ってもらうのが最も効果的であり、大阪21世紀協会では、今後も各方面に映像を提供していく予定です。



テープカットする人間国宝の吉田義助氏(左)と「静御前」

伝統芸能公演・展覧会情報誌 MEET OSAKA vol.28発刊!

関西の伝統芸能とミュージアムの選りすぐり情報をお届けする、季刊「MEET OSAKA」の最新号(7月10日号)が発刊されました。夏真っ盛りの今号は、関西一円で催される新能をはじめ、夏ならではの情報が満載です。

巻頭には伝統芸能に関するミニ知識を掲載。今号は能舞台のつくり方に注目しています。現代の額縁舞台とはかなり仕様の異なる能舞台は、かつて屋外にあったころの名残を色濃くとどめています。「能舞台はなぜ建物のなかでも屋根があるの?」「舞台後方でじっと舞をみている人の役割は?」など。

日英併記で海外からの観光客にも好評です。MEET OSAKAは、近畿一円の空港、主要駅、ホテル、ツーリスト・インフォメーションなど約200箇所まで配付中です。ぜひご活用ください。



交流サロン・21cafe <第17回>開催

平成21年7月28日/大阪大学中之島センター

ゲスト:塩屋 俊氏(映画監督)

大阪からアジア、そして世界へ ~大阪文化力の発信~

岸和田を舞台にした青春映画「ビートキッズ」をはじめ数々の作品でメガホンをとり、プロ俳優の養成スクールも主宰する塩屋俊氏。現在は大阪を舞台に4本の映画を製作中で、その撮影秘話や“映画のまち・大阪”への思いなどが語られました。また、大阪21世紀協会制作(監督・塩屋俊)の大阪プロモーション映像「Brilliant Osaka」のお披露目上映も行われました。



塩屋 俊氏